



発行 田代稚恵美ピアノ教室

台風がいくつも発生して、大荒れの天候になりました。みなさま、如何、お過ごしだったでしょうか？今夏は、リオデジャネイロオリンピックでの日本選手の健闘に眠れない夜を過ごされた方も多いことでしょう。ピティナピアノコンペティションは3月1日の課題曲説明会に始まり、8月22日（火）のグランドプリンスホテル新高輪での表彰式・祝賀会にて、幕を閉じました。ピティナ創立50周年、第40回目の開催となる今年のコンペは過去最高の44,919組が参加しました。うちの教室からは、大賀智水（年中）がA2級、沼田若菜（小2）がA1級、有永音羽（小3）がB級、寺田煌（小4）、北川愛梨（小5）、上田結鈴（小6）、沼田遥菜（小6）がC級、石井美有（小5）がD級に参加しました。（敬称略）

A2級（未就学児）、A1級（小2まで）、
B級（小4まで）、C級（小6まで）、
D級（中2まで）

全国決勝大会 ベスト賞 寺田 煌（C級）	指導者賞 田代稚恵美	全国決勝大会 入選 沼田 若菜（A1級）
----------------------------	---------------	----------------------------

**第40回 ピティナピアノ
コンペティション 2016**

うちの教室では、全員予選通過が当たり前のようになっておりますが、これは私だけが頑張るのではなく、参加する子供達はもちろんのこと、ママたち、ご家族が一丸となってサポートして下さるからです。目的意識がはっきりしているからこそ、レッスンでどんなに叱られようと、怒鳴られようと、上を目指して踏ん張れるのだと思います。一夏、腹をくくって頑張り通した子供達は一回り大きく成長したように感じております。



全国決勝大会C級
応援：
沼田遥菜、長谷川朋洋

全国決勝大会A1級
応援：
石井美有、北川愛梨、
上田結鈴、沼田遥菜、
坂本百合彩

表彰式
田代、沼田若菜、寺田煌

ホールレッスン

祝賀会

沼田ママ、寺田ママ、田代
沼田若菜、寺田煌

本選

本選1位

沼田 若菜（8/3 東日本千葉1本選 A1級）
ヤマハ千葉店賞

本選1位

寺田 煌（8/5 東日本茨城本選 D級）

本選優秀賞

北川 愛梨（8/5 東日本埼玉1本選 C級）

沼田 遥菜（8/6 東日本千葉2本選 C級）

石井 美有（8/6 東日本5本選 D級）

本選奨励賞

大賀 智水（8/2 東日本千葉1本選A2級）

有永 音羽（8/4 東日本千葉1本選 B級）

有永 音羽（8/5 東日本千葉2本選 B級）

上田 結鈴（8/5 東日本埼玉2本選 C級）

石井 美有（8/4 東日本茨城本選 D級）

予選

予選優秀賞（全員予選通過）

- 寺田 煌（6/5 栃木前期）
- 大賀 智水（6/18 船橋2）
- 沼田 若菜（6/18 船橋2）
- 沼田 遥菜（6/18 船橋2）
- 寺田 煌（6/19 ひたちなか）
- 沼田 若菜（7/2 八千代）
- 沼田 遥菜（7/2 八千代）
- 大賀 智水（7/9 さいたま南）
- 有永 音羽（7/9 船橋3）
- 北川 愛梨（7/10 さいたま南）
- 有永 音羽（7/16 千葉2）
- 石井 美有（7/16 龍ヶ崎）
- 上田 結鈴（7/17 北本）
- 石井 美有（7/24 横浜菊名6）

検定

検定優秀賞（全員検定優秀賞）

- 北川 愛梨（6/18 船橋2）
- 有永 音羽（6/19 船橋2）
- 石井 美有（6/19 船橋2）
- 石井 美有（6/26 大塚2）
- 上田 結鈴（7/10 埼玉南）
- 大賀 智水（7/22 千葉4）
- 沼田 若菜（7/22 千葉4）
- 有永 音羽（7/22 千葉4）
- 沼田 遥菜（7/22 千葉4）
- 稲垣 光希（7/23 つくば）
- 北川 愛梨（7/25 上野1）
- 寺田 煌（7/25 上野1）
- 石井 美有（7/26 上野2）



大賀智水ちゃん

大賀智水ちゃん（年中）は初めての参加。コンペを受けるということの意味も、曲に磨きをかけるということもなかなか理解出来ないようでした。発表会での智水ちゃんの演奏をお聴きになった方はお分かりになると思いますが、彼女は賢い子です。もちろんピアノも上手。しかし、だからこそ、自分の演奏に「自信」があります。その砦を少しずつ壊して新しいものを足して築いていくというのが本当に大変でした。しかし、彼女はコンペの準備を始めてからの5ヶ月で、集中力、持久力が目覚ましく身に付きました。本選奨励賞おめでとう！今後、もっともっと羽ばたける逸材と感じています！

沼田若菜ちゃん（小2）は初めての参加。いい音と音楽性を持っていると以前から私が言い続けていました。しかし、なんといっても、練習量が足りない。演奏に繊細さがなく「野生の猿」状態でした（笑）それでは、A1級ではなんとか通用しても、今後のB.C.Dと級が上がると太刀打ち出来なくなると感じ、一音ずつの音作りをしました。メリハリをしっかりとつけて私が「素晴らしい」と思って送り出しても、初めは点数が伸びませんでした。しっかりと体に覚えこませるまでやらなくてはいけないことを私も把握しました。そして、教室から先陣を切った本選で堂々の1位！コンペ組が沸き立ちました。全国決勝大会までのうだるような暑さの中、毎日、それもなんどもレッスンに通ってきました。全国決勝大会、3グループ。教室からの沢山の応援団が見守る中、よみうり大手町ホールという素晴らしいホールで緊張感に押しつぶされることなく、楽しく演奏ができました。よく頑張ったね！おめでとう！



沼田若菜ちゃん



有永音羽ちゃん

有永音羽ちゃん（小3）4回目のコンペ。お母様はお姉ちゃんの時から合わせると、今回が10回目のコンペ参加でした。音ちゃんはこの歳ですでに周りの人に気を遣えるいい子です。お母様の姿を見ながら自分で身に付けたものなのでしょう。人に対する温かい視線、周りにたくさんの方がいても、一人に偏った気遣いをして他の人を傷つけてしまうというようなことのないバランス良さは大したものです。しかし、コンペ曲はその性格もあって私の顔色ばかり見て弾いているように感じました。自分が弾きたいように弾いていい。それが変なら注意をするから安心して弾いていい、と伝えても、自分の思いとその演奏がなかなか噛み合いませんでした。「音ちゃんは今年は見学だけする気なの？」

コンペの準備が始まった頃は何度もそう尋ねました。それが、いよいよ予選が近づいた頃から、演奏が変わってきました。そして、予選を2つ合格。本選に向けての音作り、曲の構成を彼女と話しながら練り上げていきました。音羽ちゃんは「胸がきゅんとするくらいにレッスンが楽しい。」とお母様に言ったそうです。この子には粘りがある、音作りの大変さも、楽しさに変えていくバイタリティもある。健気にも見える気遣いの底に逞しさもある、と感じました。本選奨励賞。昨年、全国決勝大会に進んだ彼女としてはもっと上を目指していたことでしょうか。しかし、今回のコンペを通じて、彼女の中に蓄えられたものは大きいと感じています。また来年がんばろうね！

寺田 煌ちゃん（小4）は昨年、渡部由記子先生のご紹介で、お預かりしました。私の元でのコンペ参加は2回目になります。昨年B級で全国に行ったので、今回は飛び級をしてC級を受けました。スイミングの選手コースに行っていることに加えて、今回はご家族の方のお具合が良くなかったようでレッスンにも思うようになってこられませんでした。普通でしたら、私がコンペ参加をお断りしているレベルの練習時間、レッスン回数だったと思います。しかし、その中で、確実に曲に磨きをかけられたのは、はっきりとした目的意識と負けん気でしょうか。本選では「親子共々、緊張してどんな演奏をしたのかわかりません。」という状況の中での、第1位。ここからがまた、大変でした。練習量が少ないので、本選曲に取りかかってから予選曲を全然弾いていませんでした。勘を取り戻すまでに時間がかかり、本当に何度諦めかけたことでしょうか。全国決勝の前日も発熱、全国に向かう電車の中でも気分が悪くなり途中下車。応援に駆けつけたときには煌ちゃんの顔色と表情は最悪。その中で、渾身の演奏。素晴らしいと感じました。ベスト賞、おめでとう！



寺田 煌ちゃん

稲垣光希くん（中1）は昨年までコンペを毎年受けていました。今年は私立中学に入り、さすがにコンペ挑戦は無理だったので、検定を受けることにしました。光希くんの通っている中学はほとんど夏休みもないとのことなかなか練習時間の確保が難しく、気を揉みました。しかし、諦めない光希くんは最後まで頑張りました。そして、予選通過ラインを超えた検定優秀賞！おめでとう！忙しい中でも目的意識を持って少しずつの努力、しっかり実を結びましたね！



北川愛梨ちゃん

北川愛梨ちゃん（小5）2回目の参加。昨年はB級で全国に王手をかけるまでの成績を残しましたが今回はC級です。曲も難しくなりますし、長くもなります。4時代で1曲ずつ選びますが、調性も雰囲気も違う曲を選ぶようにしていますので、自分の得意とする曲ばかりというわけにはいきません。初めはこの4曲それぞれの性格をつかむのに手こずり、イメージも広がらないようでした。今回は無理かな、私のその思いが予選が終わるまで続いていました。それが7月末のホールレッスンで「あれ？音が響き始めたかも。」「少し曲に対する思い入れができたかも。」コンペ組の子供達もママたちも「愛梨ちゃんの音は美しい。」と。それから本選までの日が余り残されていませんでした。本選でもたっぷりとした豊かな音で伸びやかに演奏できたようです。しかし、全国に一步及ばず、本選優秀賞！今回はもう少し早くに芽が出ていたら、、、と残念な気がしました。今年身に付けたことをしっかり熟成させて来年に繋いでいこうね！おめでとう！

今回の台風の目は上田結鈴ちゃん（小6）（笑）。2月末にコンペティションの課題曲が発表され、コンペを受ける子たちは準備に取り掛かりました。それが、3月中旬過ぎに、小学校の思い出にコンペに参加したいとお母様。私は教室からコンペを受けるようになった次の年から予選を落としたことがないので！本人がすごくやる気があるのならと言えば、ニコッと笑って首をかしげる。もう少し易しいコンクールも勧めましたが、ピティナがいいとのこと。それも予選に受かった場合、本選に出ないのは勿体ないから本選曲も準備したいとのこと。初挑戦でC級、通る訳がないと思いました。初難関はC級参加の子4人で行う合同レッスンです。暗譜で弾く、それも他の子の演奏を聴いた感想を言わなければなりません。それが！結鈴ちゃんは暗譜をしてきて、感想も素直な心で感じたことを言い、それが的を射ていました。それからの彼女ののびしろには目を見張りました。さすがに予選が心配でしたので予選曲中心にレッスンをして予選通過。さて、本選曲。「本選でせめて恥ずかしくない演奏をしよう。」と頑張りました。本選でのすごい緊張の中、彼女は「私は全国を狙ってない。」「私は賞なんて狙ってない。」と呪文のようにつぶやいていたそうです（笑）それが、本選奨励賞！！その知らせのメールに、私は思わず「おお！（◎_◎;)」と返信しただけで「おめでとう」の言葉も忘れませんでした。ゴネンネ！本当におめでとう！



上田結鈴ちゃん



沼田遥菜ちゃん

沼田遥菜ちゃん（小6）コンペは3回目の参加。今までは2回とも全国に進んでいました。今回もC級4名の中で一番安定した演奏をしていました。それが、妹の若菜ちゃんが8月2日の午前中に本選1位を頂いた埼玉1本選で、夕方、同本選のC級に参加してまさかの失速。なんとなく嫌な予感がしたので、その直前に「気負わないで、いつも通りに演奏してね！」とメールをしたのですが、遥菜ちゃんにとっても何が起きたのかわからないようでボーッと帰宅したそうです。次の日、レッスンに来て、初めて私の前でポロポロと涙をこぼしました。私にもわかりますが、妹という存在は、自分がかまってやるべき存在。その妹が自分の手で羽ばたくことなど考えも及ばなかったのでしょうか。

「いい演奏をして認められなかったわけではないでしょう。」「いつも通りのいい演奏をすればいいんじゃないの？」という私にやっと我に返った遥菜ちゃん。そこからは一心不乱に自分の演奏を取り戻すべく頑張りました。そして、本選優秀賞。遥菜ちゃんも若菜ちゃんと一緒に全国に行って、今までと会場が変わった新高輪プリンスホテルでの表彰式・祝賀会にも出たかったことでしょうね。でも、この経験は遥菜ちゃんの今からの人生にきっと深みを与えてくれますよ。人生山あり谷あり。コンペは一つの目標ですが、そのコンペも遥菜ちゃんの人生の通過点です！また、がんばろうね！おめでとう！

石井美有ちゃん（小5）は4回目の参加。3年生の時にも飛び級でD級を受けて全国に進みベスト賞を頂いています。今回から美有ちゃんは赤松林太郎先生のご指導を受けました。赤松先生のレッスンは、音大の学生でもこんなレッスンを受けられているだろうかと思うほどの沢山の知識に裏付けされた確固たる理論と、先生の海外での経験の中で積み上げられた演奏技術を惜しみなく与えて下さるもので、田代が一番勉強になっているかもしれません（笑）こんな素晴らしい環境のもと、しかし、第一回目の本選では、美有ちゃんの良くないところが露呈したようで、独りよがりの演奏になってしまったようでした。次の本選までの中4日。美有ちゃん一人に練習を任せるように移行しようとしていたママがまず練習室に戻り、フィンガートレーニングの藤田尚先生にも弱点の補強をして頂きながら、私も一小節ずつ見直して美有ちゃんの体に覚えこませていきました。しかし、二回目の本選には、日本一の毎コンの全国に進んだような子が飛び級せずにおり、飛び級の美有ちゃんは0.02ポイント足らずの本選優秀賞！非常に惜しかったですが、本当によく頑張ったと思います。いい勉強をしましたね！今後に生きてくる経験だったと思います。



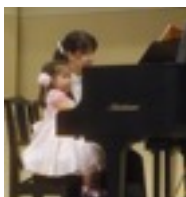
石井美有ちゃん

ステップ合格 おめでとう！！

流山ステップ

7/3

石井 那月 (プレ導入)	鈴木日向子 (基礎1)	長谷川朋洋 (基礎1)	鳥居 遼人 (基礎2)
松永 啓佑 (基礎4)	増田 結 (基礎4)	坂本百合彩 (基礎5)	石井 夏月 (基礎5)
渡辺帆乃花 (応用1)	北川 真衣 (応用1)	齋木 桜子 (応用2)	松永 偲歩 (応用2)
有賀 文音 (応用2)	鷲谷 莉子 (応用2)	服部 葵 (応用3)	秋葉 れい (応用3)
大西 和歌 (応用3)	中村 美結 (応用4)	北川 莉子 (応用4)	神保和花乃 (応用7)
影山 裕奈 (応用5)	新田 彩桜 (応用5)	大村 栞 (応用6)	梅 昌大 (発展5)
寺田絵梨花 (展開1)	大賀 智水 (フリー5)	沼田 若菜 (フリー5)	大村 響 (フリー5)
稲垣 朱音 (フリー5)	梅 眞一朗 (フリー5)	三輪 駿介 (フリー5)	有永 音羽 (フリー7)
寺田 煌 (フリー7)	稲垣 光希 (フリー7)	小松菜津美 (フリー7)	北川 愛梨 (フリー10)
上田 結鈴 (フリー10)	沼田 遥菜 (フリー10)	上田 萌莉 (フリー12)	



継続表彰
おめでとう！

継続5回表彰

坂本百合彩
石井 夏月
沼田 若菜
服部 葵

継続10回表彰

中村 美結

継続15回表彰

寺田 煌
新田 彩桜
三輪 駿介
大西和歌

継続20回表彰

梅 昌大
沼田 遥菜

継続25回表彰

稲垣 朱音

敬称略

流山地区ステップ

7月3日(日)に流山市生涯学習センター多目的ホールにてピティナ流山地区ステップが開催されました。教室からは、初参加の石井那月、大賀智水、小松菜津美さんを含む39名が参加しました。

石井那月ちゃんは3歳、ピアノを習い始めてまだ半年。流山ステップ初のプレ導入での参加でした。プレ導入はステージに親か先生が付き添うことが出来ます。アドバイザーの評価は頂けませんが、導入の準備段階として楽しくステージに参加できます。(上2段目一番左写真)

また今回はアドバイザーに作曲家の日下部満三先生がお越し下さいましたのをご縁に、日下部先生の作品を梅昌大、稲垣朱音、神保和花乃、新田彩桜さんが演奏しました。日下部先生はメッセージを書いて下さりながら、会場から温かい拍手を送って下さいました。その後、演奏した子供達に労いの言葉とともにアドバイスを下さり、記念撮影をして下さいました。子供達の心の中に、またひとつ、大きな宝物が増えたことでしょう。



梅昌大くん



稲垣一家と田代



新田彩桜、神保和花乃、日下部先生、服部葵

佐藤展子先生トークコンサート

トークコンサートをして下さったピアニストの佐藤展子先生はピティナの特級グランプリの他、素晴らしい経歴をお持ちの方です。その方が、参加者の一先輩として、会場に謙虚に話しかけて下さり、その思いの溢れるような演奏をして下さいました。

編集後記

ステップ前夜の準備に、上田萌莉ちゃん

とママ、北川愛梨ママが駆けつけて下さり(上左写真)、暑い中、お手伝い下さいました。

また、流山ステップは全プログラムが終了したのが20:35でしたが、会場には沢山の方々が残って演奏を聴いて下さっており、その子供達やママたちが7.8部の講評終了と同時に一齐に片付けをして下さり、完全撤収時間21:00にきちんと間に合いました。素晴らしいチームワークとスタッフの先生方も感じ入っていました。8月20日の娘あかりが参加したライブにも有永音羽、上田萌莉ちゃんとママたちが応援にいらして下さいました(上右写真)。みなさま、有難うございました！！

